

成田市環境基本計画 2019(令和元)年度 年次総括

各重点プロジェクトの進捗状況一覧

	項目	推進目標・指標等 2027(R9)年度	推進目標・指標等の状況 2018(H30)年度	推進目標・指標等の状況 2019(R1)年度
重点プロジェクトⅠ 生き物・里地里山の ふれあいづくり	継続的・定期的な動植物生息調査の実施及び情報の提供	第4次調査 (2024～2025(R6～7)年度予定)	-	-
	自然環境情報の発信	調査結果の情報発信 自然学習教材の提供	市ホームページに調査結果を掲載 イベント時に自然学習教材を提供	市ホームページに調査結果を掲載 イベント時に自然学習教材を提供
	生き物・里地里山の ふれあい拠点の選定	ふれあい拠点の募集・選定の実施 1拠点以上選定・活用	ふれあい拠点の選定 0件 坂田ヶ池総合公園及び市民の森について自然とのふれあいが楽しめるよう園路等の修繕を実施	ふれあい拠点の選定 0件 来年度の拠点選定に向けて検討を進める。 坂田ヶ池総合公園及び市民の森について自然や生物とのふれあいが楽しめるよう園路や法面の修繕を実施
重点プロジェクトⅡ エコライフによる 低炭素なまちづくり	エネルギー起源の 温室効果ガス(CO2)排出量	基準年:2013(H25)年度 2,049千t-CO2 目標値:2030(R12)年度 1,730千t-CO2 基準年度比約16%の削減	2015年度 1,979千t-CO2 基準年度比-3.4%	2016年度 2,117千t-CO2 基準年度比3.3%増
	小・中学校太陽光発電整備率	71.0%	32.4% 達成率45.6%	32.4% 達成率45.6%
	成田市地球環境保全協定への 参加事業所数	300事業所	179事業所 達成率59.7%	181事業所 達成率60.3%
	成田市環境保全率先実行計画 によるCO2排出削減	基準年:2016(H28)年度 60.03千t-CO2 目標値:2020(R2)年度 56.03千t-CO2	49.47千t-CO2 達成率113.3%	50.61千t-CO2 達成率110.7%
重点プロジェクトⅢ 3Rによる循環型 まちづくり	ごみの総排出量	47,300t	52,537t 達成率90%	53,761t 達成率88%
	1人1日当たりのごみの排出量	938g/人日	1,079g/人日 達成率87%	1,105g/人・日 達成率85%
	ごみのリサイクル率	28%	17.1% 達成率61%	16.9% 達成率60%
重点プロジェクトⅣ	なりた環境ネットワーク 加入団体数	81団体	73団体 達成率90%	73団体 達成率90%

成田市環境基本計画 2019(令和元)年度 年次総括

環境交流の まちづくり	環境会議等国際交流の推進	関連する国際交流等と連携して 定期的に開催	連携事業について検討	なりた知っとく出前講座で外国人留学生にご みの出し方について説明会を実施
推進事務局 取組の成果と評価 及び今後の課題・方 針について	市の重点的取組における、取組の成果と評価及び今後の課題・方針については別添「2019(令和元)年度 成田市環境基本計画年次報告書」のとおり。			
環境審議会 質問及び意見に対 する回答	別添「令和2年度第2回成田市環境審議会 環境審議会委員からの質問及び回答書」のとおり。			
環境管理委員会 評価及び改善提案	<p>各プロジェクトの取組において、推進目標・指標等の状況が未実施である項目や進捗が遅れている項目については、各担当課で連携を図り速やかに改善に取り組むこと。</p> <p>具体的な改善提案については以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定外来生物について、近年では気候の変化により動植物の生息状況も変化し、新たな特定外来生物の侵入が想定される。こうした状況の中で、駆除などの適切な対応を早期に実施することで、広まりを抑えることは可能であるため、今後も情報収集に努め、適切な対応を実施すること。 ・ふれあい拠点の選定について、坂田ヶ池総合公園は、環境学習の場として活用されており、候補としているとのことであるが、選定に向けて関係課等との協議を早急に進めること。 ・森林保全活動推進事業は森林環境の保全に効果的であったと考えられる、課題である活動の担い手の発掘を引き続き行っていくこと。 ・住宅用省エネルギー設備設置費補助について、他自治体の動向なども注視しつつ、新たな対象機器の追加についても検討するとともに、引き続き、制度の周知に努め、省エネルギー設備の導入促進を図ること。 ・ごみの減量について、引き続き広報や市のイベント等を利用した積極的な啓発活動に加え、分別ガイドブック・リサイクルの手引きを窓口や各支所・公民館等、及び出前講座等の説明会で配布することで、市民のごみに関する理解の促進に努めること。 ・リサイクル運動の登録団体やリサイクル教室の参加者は減少傾向にあり、さらなる周知が必要であるため、さんあ〜るや広告付き番号案内表示機広告モニターの活用など、新たな媒体による周知に努めること。 ・事業系ごみの減量・資源化については、事業系一般廃棄物と産業廃棄物の適正分別を推進し、ダンボールや古紙などの紙類や、食品残さなど資源物としてのリサイクル推進、近隣市町村の状況をみながら処理手数料の見直しや新事業について検討すること。 ・環境会議等の国際交流については、平成30年度は事業を検討している状況であったが、令和元年度については外国人留学生を対象に、ごみの正しい出し方をテーマになりた知っとく出前講座を全2回実施し、延べ100名にごみの正しい出し方や分別についての説明を行った。今後も継続的に事業を実施し、国際交流を拡大していくこと。 			

成田市環境基本計画 2019(令和元)年度 年次総括

環境管理統括者 評価及び改善提案	<p>各プロジェクトの取組において、推進目標・指標等の状況が未実施である項目や進捗が遅れている項目については、各担当課で連携を図り速やかに改善に取り組むこと。</p> <p>具体的な改善提案については以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none">・特定外来生物について、近年では気候の変化により動植物の生息状況も変化し、新たな特定外来生物の侵入が想定される。こうした状況の中で、駆除などの適切な対応を早期に実施することで、広まりを抑えることは可能であるため、今後も情報収集に努め、適切な対応を実施すること。・ふれあい拠点の選定について、坂田ヶ池総合公園は、環境学習の場として活用されており、候補としているとのことであるが、選定に向けて関係課等との協議を早急に進めること。・森林保全活動推進事業は森林環境の保全に効果的であったと考えられる、課題である活動の担い手の発掘を引き続き行っていくこと。・住宅用省エネルギー設備設置費補助について、他自治体の動向なども注視しつつ、新たな対象機器の追加についても検討するとともに、引き続き、制度の周知に努め、省エネルギー設備の導入促進を図ること。・ごみの減量について、引き続き広報や市のイベント等を利用した積極的な啓発活動に加え、分別ガイドブック・リサイクルの手引きを窓口や各支所・公民館等、及び出前講座等の説明会で配布することで、市民のごみに関する理解の促進に努めること。・リサイクル運動の登録団体やリサイクル教室の参加者は減少傾向にあり、さらなる周知が必要であるため、さんあ〜るや広告付き番号案内表示機広告モニターの活用など、新たな媒体による周知に努めること。・事業系ごみの減量・資源化については、事業系一般廃棄物と産業廃棄物の適正分別を推進し、ダンボールや古紙などの紙類や、食品残さなど資源物としてのリサイクル推進、近隣市町村の状況をみながら処理手数料の見直しや新事業について検討すること。・環境会議等の国際交流については、平成30年度は事業を検討している状況であったが、令和元年度については外国人留学生を対象に、ごみの正しい出し方をテーマになりた知っとく出前講座を全2回実施し、延べ100名にごみの正しい出し方や分別についての説明を行った。今後も継続的に事業を実施し、国際交流を拡大していくこと。
---------------------	--